

|      |   |     |        |     |              |    |     |
|------|---|-----|--------|-----|--------------|----|-----|
| 教科   | 工業  | 科目  | 工業技術基礎 | 単位数 | 2単位          | 学年 | 1学年 |
| 学科   | 繊維デザイン科   | コース |        | 教科書 | 工業技術基礎（実教出版） |    |     |
| 副教材  |   |     |        |     |              |    |     |
| 学習目標 | 1. 人と技術と環境について理解させる。<br>2. テキスタイルデザインの加工技術について理解させる。<br>3. テキスタイルデザインの生産工程を理解させる。 |     |        |     |              |    |     |

|         |     | 学習内容   | 学習活動・学習の狙い   | 評価の観点 |     |    | 備考   |
|---------|-----|--|--|-------|-----|----|--|
|         |     |  |  | 知技    | 思判表 | 主体 |  |
| 1<br>学期 | 4月  | 工業技術基礎とは<br>(1) 工業技術基礎では何をどのように学ぶのか  | ・ 工業の専門分野を知り、製作過程を通してものづくりの重要性を理解させる。              | ◎     | ◎   | ○  | ・ 教科書P33までの内容をプリントとタブレットを使い理解させていく。<br><br>・ 班ごとに分かれ、少人数で活動する。<br>・ 色見本を作り、以降の染色に活用する。 |
|         | 5月  | 人と技術と環境<br>(1) 社会生活と産業<br>(2) 人と環境   | ・ 環境にも配慮した持続可能な社会の構築について技術者・消費者として理解させる。           | ◎     | ◎   | ○  |  |
|         |     | 知的財産とアイデアの発想<br>(1) アイデアの発想と権利の取得<br>(2) ものづくりとデザイン                                      | ・ 権利と制度について理解し、自らのアイデアアスケッチからデザインの課題点、解決方法を考えさせる。  | ○     | ◎   | ◎  |  |
|         | 6月  | 事故防止と安全作業<br>(1) 薬品による事故について   | ・ 実習室で起こりえる事故について、きまりと防止策、対処方法を理解させる。              | ◎     | ◎   | ○  |  |
|         | 7月  | 化学実習の基本操作<br>(1) 加熱・質量と容量の測定の基礎知識<br>(2) 染色の基礎<br>(ア) 浸染について<br>(イ) 防染について<br>(ウ) 捺染について | ・ 化学反応を利用した製品について物質の特性とガスバーナー・上皿天秤の使い方について理解させる。   | ◎     | ○   | ○  |  |
|         |     |  | ・ 色に対する理解を深め、目的に応じた染料の使用方法を理解させる。                  | ◎     | ○   | ○  |  |
|         |     |  | ・ 直接染料の特性と技法を理解させる。                                | ◎     | ○   | ○  |  |
|         |     |  | ・ 防染技法と型染めについて理解させる。                               | ◎     | ○   | ○  |  |
| 2<br>学期 | 8月  | 基本織物製造実習<br>(1) 機結び実習  | ・ 結び方を理解して、確実に素早くできる。                              | ◎     | ○   | ○  | ・ 一人一人です安全に留意しながら実施する。   |
|         | 9月  | (2) 織物の基本組織  | ・ 基本的な組織を理解し、自分で組織を作れる。                            | ◎     | ◎   | ○  |  |
|         | 10月 | (3) 基本的な織機運転実習   | ・ 織機の運転方法を理解し安全に運転できる。                             | ◎     | ○   | ○  |  |
|         |     | (4) 基本的な縫製実習   | ・ 工業用ミシンの基本を理解して、安全に正しく縫製することができる                  | ◎     | ◎   | ○  |  |
|         | 11月 | 図面の表しかた<br>(1) 製図の基礎知識<br>(2) 製図の実習  | ・ 製図の基礎を習得させ、基礎的な図面の読み取りや作成する能力を身につけさせる。           | ○     | ◎   | ○  | ・ 必要に応じて班別学習を適時適切に設定し基礎的知識と技能の定着に努める。  |
|         | 12月 | 寸法のはかりかた<br>(1) 測定器の基礎知識   | ・ 長さの代表的な測定器の測定方法について習得させ、測定値には誤差が含まれていることを理解させる。  | ◎     | ◎   | ○  |  |
|         | 12月 | 工具の扱い方<br>(1) 作業工具の基礎知識<br>(2) 電動工具の基礎知識   | ・ 基礎的な工具の選定や扱いかたについて習得させ、作業を正しい手法で能率よく進められるようにさせる。 | ○     | ◎   | ○  | ・ 講義と作業を適切に組み合わせ、指導する。   |
| 3<br>学期 | 1月  | デザインについて学ぼう<br>(1) デザインの基礎知識   | ・ 身近なデザインから始まり、基本的な考え、知識、技術を理解させる。                 | ◎     | ○   | ◎  | ・ デザインの三分類を元に導入を進める。   |
|         | 2月  | (2) 色彩の基礎知識  | ・ デザインにおける色彩計画を元に、色彩の特性を理解させる。                     | ◎     | ◎   | ○  | ・ 身近な題材を取り上げ、考察しやすい内容を選択する。  |
|         |     | (3) 書体の基礎知識  | ・ タイポグラフィの知識に触れ、美しいデザインのレイアウトを身につけさせる。             | ◎     | ○   | ◎  | ・ 美しいレイアウトへの定着に努める。  |
|         | 3月  | インテリアについて学ぼう<br>(1) インテリアの基礎知識<br>(2) 人間工学の基礎知識<br>(3) 材料加工の基礎知識                         | ・ インテリア、人間工学、材料加工とデザインの関係性を理解させる。                  | ◎     | ○   | ◎  | ・ 主体的に取り組めるよう努める。  |
|         | 3月  | まとめ  | ・ より専門性の高い学びへの心構えを育成する。                            | ○     | ○   | ◎  | ・ 一年間を振り返る。  |

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

| 評価方法 | ・ 考査評価、提出物評価、学習の取込み状況評価などの総合評価とする。<br>・ 平常時の授業態度、意欲等の授業に対する取り組みについても評価する。 |
|------|---|
|------|---|